

○エア・ウォーターの森におけるACE札幌サテライトの開設

札幌市における共創拠点として、エア・ウォーターの森にACE札幌サテライトを開設した。エア・ウォーターの森は、大学、企業やスタートアップ、自治体が相互に連携し、課題解決につながる新事業の創出を目的にエア・ウォーター北海道が令和6年12月に開業した産学連携の研究開発施設である。

令和7年2月には、機構とエア・ウォーター北海道において包括連携協定を締結し、今後は、本拠点においてエア・ウォーター北海道を始め、自治体・産業界と双方向のコミュニケーションを活性化させ、より一層の関係性の構築と3大学連携融合や産学官金連携によるプロジェクトの創出を図っていく。

○オープンイノベーションセンター（ACE）全体会議の開催

今年度で3回目となるACE全体会議を、令和7年2月にエア・ウォーターの森において開催した。

今回の開催では、ACEの活動を機構内外に広くPRすることに重点を置き、ACEがサポートしている研究成果発表を中心とした会議構成とするとともに、経営協議会の委員をはじめ、会場となったエア・ウォーターの森に参画する外部機関の方にも参加いただき、70名を超える参加者となった。

○3大学連携研究の拡充

今年度はスマート農業に関するACEでの連携研究の成果として、トラック伴走支援システムに関する特許出願を、ACEで出願費用を支援のもと行った。

また、ACEでは、機構3大学における異分野間の研究者の壁を取り払い、機構で行われている様々な研究を気軽に知る機会を作ることを目的に、「教員紹介ランチタイムWebセミナー」を実施した。令和6年度は、7月、9月、10月、11月、2月の計5回実施し、合計215名の参加があった。



▲エア・ウォーターの森外観



▲ACE札幌サテライト



▲ACE全体会議の様子



▲教員紹介ランチタイムWebセミナー
(第1回)の案内

○「北洋銀行知財ビジネスマッチング2024」の共催

令和6年4月、札幌で「北洋銀行知財ビジネスマッチング2024」を共催した。

本事業は、同年3月に締結した北洋銀行との包括連携協定に基づく初めての連携事業であり、本機構の帯広畜産大学及び北見工業大学の特許と、自社の課題解決や新商品の開発等において対象特許の活用を見込む道内企業との個別相談会である。

道内の15信用金庫、5信用組合の協力もあり、全道各地から13社が参加し、15件の相談が行われた。今回の相談会から事業化に至ることは無かったものの、各企業のニーズを実感することができ、シーズの社会実装に向けて有意義な場となった。今後も引き続き地域産業に精通している金融機関と積極的に連携することで、研究と産業の結びつけをより強固にし、地域社会の発展に貢献していく。



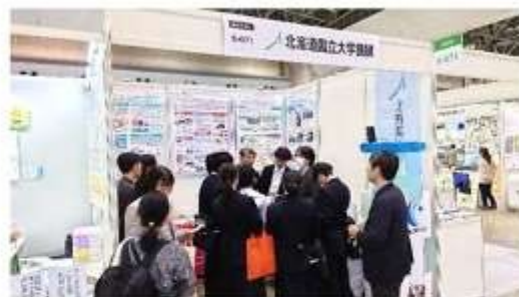
▲ 企業との相談会の模様

○「エコプロ2024」への出展

令和6年12月、東京ビッグサイト（東京国際展示場）にて開催された「エコプロ2024」に出展した。

本展は「SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）」の推進をテーマとしており、3日間の開催期間において63,303人の来場者があり、盛況のうちに終了した。

機構の展示ブースでは、ACE及び3大学の研究や学生委員会のSDGsに係る取組のポスターを掲示し、小中学生から企業関係者、一般の方々まで多様な来場者に対して紹介した。今回のイベントでは、本機構ブースに多くの来場者があり、機構及び3大学のパンフレットとクリアファイルを約600部配布し、機構の取組を多くの方々に知っていただく非常に良い機会となった。



▲ ブース来場者に取組を説明する模様